

視察研修報告

11月6、7日に2つの委員会合同で茨城県の龍ヶ崎市と境町を視察しました

総務産業委員会

NPO法人茨城県南生活者ネット視察

日常的に活動している人には賃金を払いたい

令和元年11月6日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

(1) NPO法人茨城県南生活者ネットの取り組み

茨城県龍ヶ崎市にあるNPO法人茨城県南生活者ネット（KCNN）の取り組みについて視察研修しました。

KCNNは、任意団体「住民ネットワーク21」として、茨城県南地域で生活者主権の政策提言型市民活動を進めてきた組織が発展したものです。

平成5年に発足、環境・福祉・まちづくりなどの問題について生活者の立場で実践し、市への提案などしてきました。会員制なので県からの補助金等はありません。

高齢化、グローバル化の進展の中で「地域を重視し、安全、安心と心の元氣」を支援しています。

コミュニケーションハウスを理事長が私費で購入するなど、自立型相互扶助で、会員同士が相互に助け合う組織です。このハウスを中心に「やりたがり屋」が集まってくると言います。

行政との関わりはほとんどありません。市には、廃校になった小学校を活用した「市民活動センター」や「市民交流プラザ」があり、NPO法人の設立には、相談のついでいます。

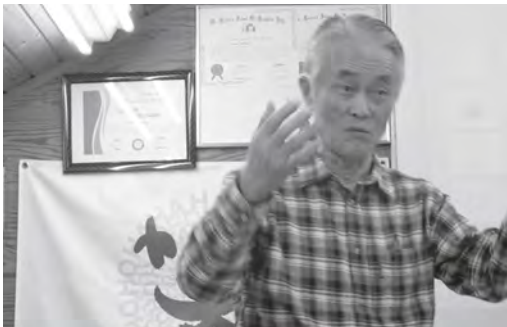
また、ハウス周辺には、住宅がありますが、ハウス事業に参加はほとんどしません。「やりたがり屋」が県内周辺から集まっています。

説明者は、「よそ者、若者

〇〇者」がエネルギーを出した。集める手段は、コミミ、独自のビラ、地方紙に載せる、ポスター、電話等である。インターネットV等はどれほど効果があったかわからないとのことだ。

毎月、「委員会別の交流会」や緻密な理事会などでよくコミュニケーションをとっています。

今後は、日常的に活動している人には賃金を支払いたい、スタッフやリーダーを育成したい。とにかく、事業に参加してもらうことが重要だ、とのことだ。（根岸）



熱い想いを語る理事長



活動拠点であるコムハウスにて

視察研修を終えて

〈総務産業委員会〉

理事長の私費で建設された龍ヶ崎市のコムハウスを視察。様々な高齢者支援を実践しているNPO法人。地域の福祉事業運営の参考になった。（石井徹）

私費を投じてコミュニケーションハウスを作ったパワーに感服。人を活かしての住民自らの取り組みは、参考にすべきものがたくさんあった。（野田）

やりたがり屋が集まるコミュニケーションハウスの活動は、我が町の町内会の参考になった。（松浪）

民間団体が主導する数多くの地域活動に圧巻された中でもユニークな笑いヨガに興味を覚えた。（森）

高齢化社会に向けた地域重視の活動は、注目すべきである。（日坂）

常任委員会レポート

福祉文教委員会

すべての子どもが英語を話せる町 茨城県境町

令和元年11月7日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

①子育て支援について

茨城県境町へ、子育て支援について視察研修に行きました。

人口2万4098人という町でありながら、20歳までの医療費助成、第3子以降に出生奨励金最大50万円、育児用品の購入助成最大3万円支給などすばらしい施策がたくさんありました。

スピード感とアカウンタビリティ（説明責任）をもとに、橋本町長を中心に政策立案、施策されていることがわかりました。

その中でも力を入れて「全ての子どもが英語を話せる町へ」をスロー

ガンにしているスーパーグローバルスクール事業について報告します。

この事業に係る費用は、町が全額負担します。家庭の財力を問わず、子どもが英語力を身につけられるよう、英検受験料金も町が負担します。

町内全小・中学校にフィリピン人英語講師17人を招聘し、給食も一緒に食べるなど、9年間を通して実用的英語力を身につけ、グローバル社会で活躍できる人材を育成しています。

フィリピンのマリキナ市と姉妹都市、ハワイのホノルル市と友好都市、アルゼンチンと80年以上に続く交流があります。

今後の取り組みとして、小学生のアルゼンチン派遣事業で海外体験、中学生をニュージーランドなどにホームステイ、小学生・中学生ともに友好都市

ホノルルにホームステイ、短期留学等、子どもたちを海外派遣していくということ。今年も国際友好交流として、小学生10人がアルゼンチンに派遣されました。スーパーグローバル事業の財源は、100パーセントふるさと納税ということでした。

熱く、きめ細かく語っていただき、受ける私たちも真剣に聞き入っていました。有意義で触発される視察研修でした。（中山）



5年間の実績と成果を語る橋本町長

庄倒され聞き入ってしまう議員たち



ふるさと納税を利用して建てたレストラン「茶蔵」。ここで境町職員と一緒にランチ

〈福祉文教委員会〉

境町職員による出迎え、研修での説明等、我々に訴えるものを感じた。その姿勢が境町の熱いそのものであると思われる研修であった。（小川）

ふるさと納税の額と返礼品の多さに驚いた。また、卒業時には英語を話せるようになるまで教えるという小中学校での英語教育の熱心さにも驚かされた。（小鷹）

境町の子育て支援は、企業誘致や、ふるさと納税、住宅支援など包括的な施策と連携して実施している。鳩山町も魅力ある町づくりを進めたい。（大賀）

境町の町長と職員が一丸となり、政策スピードと住民への説明責任を積極的に推進している。これに強く共感し、同じスタンスで自分も進みたい。（関根）